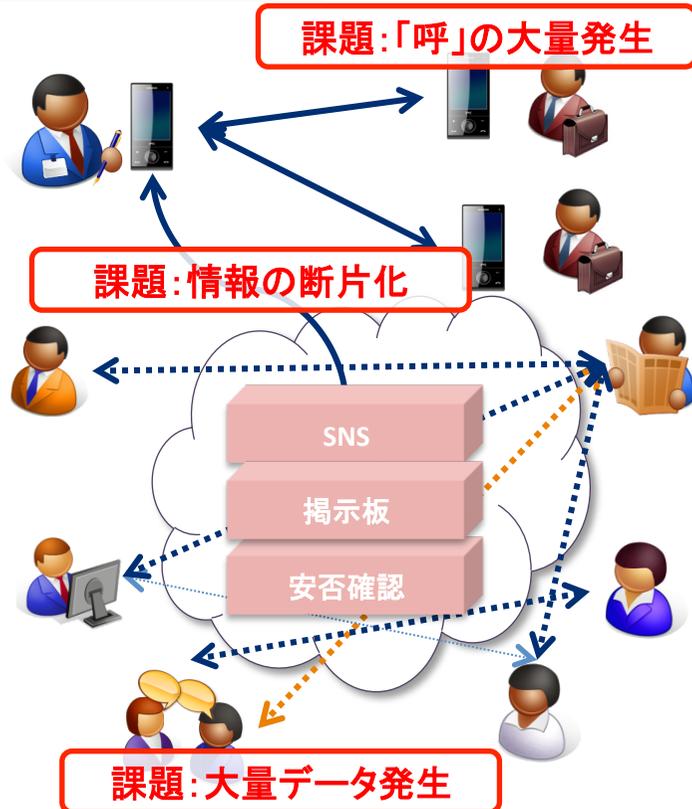


# 絆

## 災害時に安否などの情報を共有する スモールコミュニティ内での安全な情報管理

### 災害時の課題

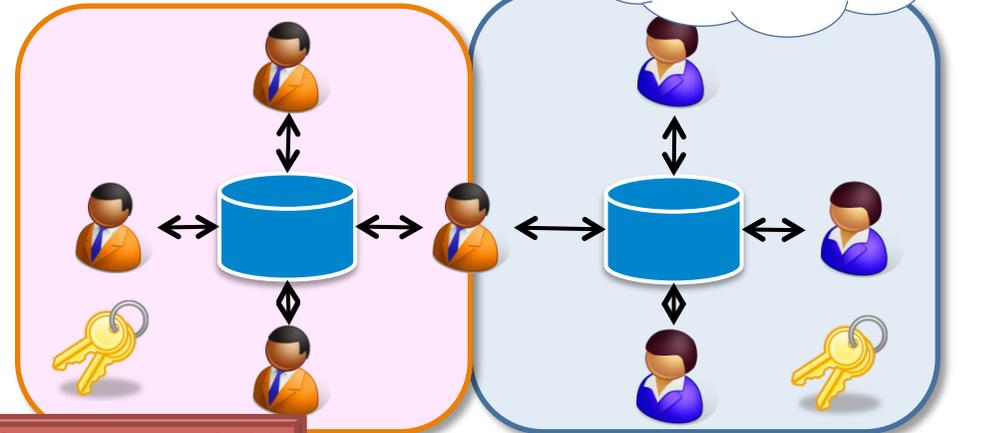


#### [従来の情報交換システムの課題]

- ✓ 「呼」の大量発生やリッチコンテンツの参照の増大により、通信量が大きくなる。
- ✓ 情報が断片化されることで誤った情報や誤解が発生しやすい。

### 解決策

#### 解決策:閉じたコミュニティ



#### 解決策:必要最小限のデータ

本当に必要な情報を閉じたコミュニティで流通することで、コミュニケーションをコンパクト化する。

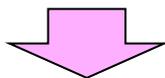
#### [効果]

- ◆ 災害時の情報通信量を最小限に抑制することが可能となる。
- ◆ コミュニティ内情報を欠損なく共有できる。

絆

# デジタル・デバインド解消のための音声認識

スモールコミュニティで全員の情報を確実に共有するためには  
デジタル・デバインドを解消する必要がある

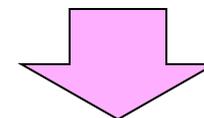


スマートデバイスの操作が不慣れな老人でも子供でも確実に操作できる仕掛け

特定話者小語彙音声認識：画面操作を登録話者の音声指示で実行



- スモールコミュニティ内での利用
- 災害時でも簡便に利用できる



- 小語彙での確実な操作
- 話者に依存した操作